

シンポジウム

人権博物館の国際発信

～水平社宣言を世界の記憶に～

2015年

8月30日(日)

13:00～17:30(12:00 開場)

奈良春日野国際フォーラム

壇～I・RA・KA～

(旧奈良県新公会堂)

基調講演 13:10～13:50

「世界記憶遺産登録による国際発信」

森山沾一さん（公益社団法人福岡県人権研究所理事長）



シンポジウム 13:50～17:30

コーディネーター：

井岡康時さん（天理大学講師）

パネリスト報告：

朝治武さん（大阪人権博物館館長）

「全国水平社創立宣言の歴史的意義」



イアン・ニアリーさん（オックスフォード大学教授）

「水平社創立の国際的意義」



金仲燮さん（韓国慶尚大学教授）

「衡平社と水平社 国境を越えた被差別民の連帯」



＜通訳・手話あり＞



〔主催〕人権ネットを活用した地域活性化事業実行委員会

〔お問い合わせ〕水平社博物館 TEL : 0745-62-5588 E-mail : suihei@mahoroba.ne.jp

－文化庁平成27年度地域の核となる美術館・歴史博物館支援事業・人権ネットを活用した地域活性化事業－



プログラム

12:00	受付
開会	
13:00	主催者挨拶 来賓挨拶 来賓紹介
13:10	基調講演「世界記憶遺産登録による国際発信」 森山沾一さん<(公社)福岡県人権研究所理事長>
13:50	シンポジウム開会 【コーディネーター】井岡康時さん<天理大学講師> 【パネリスト報告①】「全国水平社創立宣言の歴史的意義」 朝治 武さん<大阪人権博物館館長> 【パネリスト報告②】「水平社創立の国際的意義」 イアン・ニアリーさん<オックスフォード大学教授>
15:30	休憩
15:50	【パネリスト報告③】「衡平社と水平社 国境を越えた被差別民の連帯」 金仲燮さん<韓国慶尚大学社会学部教授>
16:50	パネリスト討議
17:30	シンポジウム終了(予定)

出演者プロフィール

基調講演

★森山沾一（もりやま せんいち）さん

1946年中国・瀋陽市生まれ。福岡県立大学・大学院顧問、公益社団法人福岡県人権研究所理事長。地域教育社会学的方法によるマイノリティと生涯学習（特に部落問題と子ども問題）などを研究。日本初の世界記憶遺産・山本作兵衛コレクションの保存・活用研究等に取り組んでいる。著書に『熱と光を願求して—解放教育学への節目に立って—』（城島印刷、2012年）など。

シンポジウム

【コーディネーター】

★井岡康時（いおか やすとき）さん

1954年奈良市生まれ。近現代の部落史・部落問題について、主として奈良県をフィールドにして研究。2015年3月に奈良県立同和問題関係史料センターを退職。現在は、奈良女子大学、天理大学、同志社大学などで講師。

【パネリスト】

★朝治 武（あさじ たけし）さん

1955年兵庫県生まれ。現在、大阪人権博物館（リバティおおさか）館長。1990年代初めから、水平運動史研究をはじめ近現代部落史研究を進める。著書に『水平社の原像』（解放出版社、2001年）、『差別と反逆—平野小剣の生涯』（筑摩書房、2013年）、『水平社宣言の熱と光』（共編、解放出版社、2012年）など。

★Ian Neary（イアン ニアリー）さん

1951年英国・シェフィールド生まれ。オックスフォード大学政治学部、日産現代日本研究所教授。1973年シェフィールド大学政治学及び日本研究学士課程卒業後、2年間九州大学に留学。1981年サセックス大学 PhD取得。水平社運動、東アジアにおける人権問題、同和事業政策などを研究。著書に “The Buraku Issue and Modern Japan” (Routledge, 2010) など。

★金仲燮（キム ジュンソプ）さん

1954年韓国・泰安生まれ。韓国の慶尚大学社会学部教授、人権社会発展研究所所長。英国のエセックス大学、米国のコロンビア大学、日本の京都大学での訪問教授、韓国の国家人権委員会の政策諮問委員などを歴任。韓国の被差別民・白丁とその身分解放運動である衡平運動を研究。著書に『衡平運動 朝鮮の被差別民・白丁 その歴史とたたかい』（部落解放・人権研究所、2003年）など。



基調内容

- I はじめに -ユネスコ世界記憶遺産（MOW）とは何か？-DVD上映(10分間)
-  II 日本初MOW山本作兵衛コレクションの達成経過と成果
- III 全国水平社創立宣言資料の登録をめざして
- IV おわりに 一人間の熱と光と尊厳を今こそ世界へ



1 崇仁自治連合会所有、柳原銀行記念資料館保管
2 崇仁自治連合会所有、水平社博物館保管
3 法政大学大原社会問題研究所所有・保管
18.3×39.0 1922年3月3日 全国水平社

I はじめに ～ユネスコ世界記憶遺産（MOW）とは何か？（栗原祐司氏）

1. 概要

世界の重要な記憶遺産の保護と振興を目的に、1992年に開始された情報・コミュニケーションセクターの事業

2. 目的

- ・世界的に重要な記憶遺産の保存を最も相応しい技術を用いて促進すること
- ・重要な記憶遺産になるべく多くの人がアクセスできるようにすること
- ・加盟国における記憶遺産の存在及び重要性への認識を高めること

3. 対象

記憶遺産（直筆の文書、書籍、ポスター、絵、地図、音楽、写真、映画等）

- ・人権宣言 (フランス)
- ・ゲーテの直筆文学作品、日記、手紙等 (ドイツ)
- ・アンネ・フランクの日記 (オランダ)
- ・アンデルセン・コレクション (デンマーク)
- ・黄帝内經 本草綱目 (中国)
- ・1980年人権運動の記録 (大韓民国)

4. 経緯

- 1992(平成4)年 ユネスコ(国連教育科学文化機関・本部パリ)において事業開始(2013・平成25年までに11回の国際諮問委員会が開催され、2年に1度各国・団体・個人から提案たものを審議し決定する。)
- 現在 計301件登録
- (2014・平成26年1月現在)

II 山本作兵衛コレクション(697点) の経過と成果 1. 日本初の記憶遺産

日本初

2011(平成23)年5月25日



世界記憶遺産 (Memory Of the World) 登録!

山本作兵衛(1892~1984)コレクション

田川市(田川市石炭・歴史博物館):所有・管理
炭坑記録画585点と日記6点と雑記帳や原稿等36点
福岡県立大学(附属研究所):保管
日記及び雑記帳66冊と絵画4点(絶筆を含む)

合計697点 そのほかに多くの記録画・遺品がある

山本作兵衛氏のライフヒストリー



- 1892(明治25)年 福岡県嘉穂郡(現飯塚市)に誕生。
父の家業は遠賀川の川舟船頭から炭坑夫となる。
- 1898(明治31)年 尋常小学校入学。
- 1899(明治32)年(7歳) 石炭の鉄道輸送開始に伴い川舟船頭を辞めた父と共に、一家で上三緒炭坑に移住。
炭坑の仕事をするようになる。
- 1900(明治33)年(8歳) 弟の初節句に貰った加藤清正の人形を繰り返し写生。
- 1903(明治36)年(11歳) 尋常小学校卒業。高等小学校入学。7月退学。
在学中に図画の写生で先生に褒められる。
この頃、源平合戦などの絵本作成。近所の子どもに売って画材等を購入。邊境から記録画を始める。
(左写真は本橋成一作品)

人間の光と熱と尊厳を今こそ世界に

全國水平社創立宣言

と関係資料

ユネスコ記憶遺産登録をめざして

綱領

一、特殊部落民は部落民自身の行動によつて絶対の解放を期す

一、吾等は人間性の原理に覺醒し人類最高の業の自由を社會に要求し以て獲得を期す完成に向つて突進す

宣
言

全國に散在する吾が特殊部落民よ團結せよ

吾々は、かねて勧められて頗る禮讃す

辱しうめに冷たいから人生のまれた。みんなは、心からして生れたり、人間に光あれ。

人の世

二四

4

水

平

社